

令和8年6月吉日

会員の皆様

東海透析研究会
会長 渡邊 有三

第109回東海透析研究会の開催について

拝啓 雨に濡れた紫陽花の美しさに心慰められる今日このごろであります。

会員の皆様には、ますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より当会の運営につきまして、多大なご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

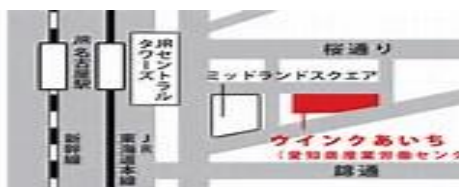
このたび、第109回の東海透析研究会が医療法人有心会 大幸医工学研究所の中井 滋先生のご企画により、下記のとおり開催されます。

皆様方には、お誘い合わせの上、多数のご参加をいただき、ご討議賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 日時 令和8年10月4日（日）午前10時30分～午後5時(予定)
2. 場所 愛知県産業労働センター（ウイंकあいち）2階 大ホール
名古屋市中村区名駅四丁目4-38



3. 内容

(1) 一般演題の発表

(2) 企画シンポジウム

- ・テーマ：透析患者数減少を理解する

- ・演者：①中井 滋 先生（東海透析研究会幹事／大幸医工学研究所所長）

演題名：慢性透析患者数推移の現状と将来予測

- ②太田 圭洋 先生（日本透析医会副会長／名古屋記念財団理事長）

演題名：透析患者減少局面における透析医療機関経営 ～保険診療の現状と将来～

- ③渡邊 有三 先生（東海透析研究会会長／春日井市民病院統括顧問）

演題名：保存的腎代替療法（CKM）についての考え方

今回の東海透析研究会参加者に

*日本透析医学会の専門医制度委員会が認める地方学術集会として認定されており、研究会への参加で5単位が取得できます(参加証発行)。

*日本腎不全看護学会認定委員会が規定する「慢性腎臓病療養指導看護師」の認定ポイント取得対象の地方会として認定されています。

第109回東海透析研究会

当番世話人 中井 滋
(大幸医工学研究所)

謹啓 向暑の候、皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今回は一般演題が主体となっておりますので、それぞれの部門より奮って多数ご応募していただきますようお願い申し上げます。

また、特別企画のシンポジウムとして、「透析患者数減少を理解する」をテーマに太田圭洋先生始め3名の先生方による発表が行われます。

年々厳しさを増す透析医療界においては、大変参考になるものと思います。お忙しい中とは存じますが、皆様方のご参加をお待ちしております。

謹白

◎一般演題

- ・公益財団法人愛知腎臓財団ホームページの「東海透析研究会」から、**演題申込書**をダウンロードして、ご記入の上、下記の申込み先へメールでお送りください。
- ・また、**抄録**もホームページに掲載の「抄録の作成要領」に従い、ワード形式で作成したものをメールでお送りください。

◎締切り日：令和8年8月10日（月）必着

プログラム編成の都合もありますので、早めにお申し込みいただければ幸いです。

◎申込み先：〒453-0016

名古屋市中村区竹橋町36番31号

公益財団法人愛知腎臓財団内

東海透析研究会 事務局

電話：(052) 446-8085

FAX：(052) 446-8368

E-mail：jimu@ai-jinzou.or.jp

◎その他

- ・当日発表されるファイルは、Windows版PowerPoint2021・2024で作成するとともに、フォントは、Windows標準フォントをご使用ください。
- ・本書を施設長始め、透析部門など関係部署に回覧していただきますよう、お願いいたします。